

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・観光客の入国措置が緩和されれば、今後景気回復になる。
	◎	百貨店（店舗企画）	・5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行が、インバウンドの規制緩和につながると期待している。
	◎	コンビニ（店長）	・現在の来客数の推移や、那覇港へのクルーズ船の寄港予定をみると需要が増えていくと予想できる。
	◎	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に変わる。また、1月10日より再開した全国旅行支援により、春休み、ゴールデンウィークと観光客が今以上に増える。以上2点の理由により、観光産業中心に県経済は回復していく。
	○	スーパー（企画担当）	・来客数は前年を捉えることができている。値上げラッシュで現状は買上点数が落ち込んでいるが、徐々に値上げに対する意識が和らいできている雰囲気があり、今後買上点数が増えるかと予想している。
	○	衣料品専門店（経営者）	・沖縄は暖かくなるにつれ来客数も伸び、県全体的に景気は上向くとみている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	・一時的に商品供給量が増加することから販売が伸びる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に変わること、沖縄の景気を左右する観光業が更に伸びて景気は良くなるとみている。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・外国人観光客が更に増えればという希望的観測である。焼き物全体の価格は電気代の高騰により上がっていくとみているので、海外客が購入すれば卸先での売上も確保できるのではないかとみている。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客が増え始めている。また、クーポンの効果にも期待している。しかし、仕入原価の高騰、慢性的な従業員不足は続いている。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・2月、3月の宿泊予約数は動いている。料飲部門の宴会や夕食も先々の予約が入ってきている。ただし、人件費の上昇、様々な値上げにより経費負担が増えており、収入は増えるものの4月以降の負担増により、これまで上向いていた景気はどうか分らない。
	○	通信会社（営業担当）	・学生需要が高まる時期であるため、今よりも市場は活気付くと期待している。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は新型コロナウイルス感染症発生前の2019年を上回っており好調に推移している。国際線の再開によりインバウンド需要は著しく伸長している。
	○	住宅販売会社（役員）	・コロナ禍の影響がなくなり、また、住宅取得に直接影響する金利もさほど上がらないのであれば、住宅需要は期待できる。
	□	スーパー（販売企画）	・家庭でも光熱費値上げの影響があり、食費を切り詰める話も聞かえている。そのため客の買い控えは続くこととなり、店舗での買上点数を増やすことは難しい。また商品値上げも続くので3か月先の景気は同じような状況だと考える。
	□	コンビニ（経営者）	・近隣に他店舗が建設中なので、客が分散する心配がある。商品の品ぞろえと接客に力を入れて売上を伸ばしたい。
□	衣料品専門店（経営者）	・今月は年始の成人式に期待していたが、さほど売上アップにはつながっていない。まだまだ我慢が続くものとみている。	
□	家電量販店（営業担当）	・物価上昇によって客の生活防衛意識が高まり、消費意欲が低下しているとみられる。	
□	旅行代理店（マネージャー）	・世の中のあらゆる物価が上昇しているなか、旅行代金も比例して高くなっている。春休みなどの商品への反応も今一つ良くない。	
□	住宅販売会社（代表取締役）	・物価高騰の影響などもあり、多くの予算が掛かる住宅購入やマンション購入などには、慎重な態度が当面続くと予想される。	
▲	コンビニ（副店長）	・原油価格が高騰し、中小企業の賃上げがなかなか進まないなか、低価格志向の強まりや、買上点数の減少が進み、苦戦を強いられると考える。	
▲	一般レストラン（代表者）	・まだ新型コロナウイルス感染症を気にする人もいるし、ニュースではインフルエンザの注意などが放送されているため、警戒しているとみている。	

	▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの1月の販売室数は前年比280%増加なのに対し、1月末時点での4月の予約室数は前年比152%増加と、プラス幅が小さくなっている。
	×	商店街（代表者）	・現在でも新型コロナウイルスの影響はまだ落ち着かず高止まりしている状態である。感染状況が穏やかになれば、徐々に景気は上向きになってくるとみているが、末端の店舗はまだ大変厳しい状況下にある。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	食料品製造業（役員）	・国内の観光客は新型コロナウイルス感染症発生前まで回復していて、またインバウンドも徐々に増えつつあり以前のような物量の増加が見込まれる。さらに、春以降、値上げに伴う単価の上昇も見込まれる。
	○	建設業（経営者）	・資材価格高騰分を、床面積を少なくしたりで、総予算は変えずに契約方向に向かう可能性がある。
	○	輸送業（代表者）	・先島地区の建設関連は、公共工事では石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調だが、宮古島は端境期で少ない。与那国島は先に発注された大型の自衛隊工事が始まり、今後が期待される。民需については、宮古島、石垣島を中心に大型のホテル工事が進んでいる。
	□	窯業土石業（取締役）	・資材価格の高止まり及び価格転嫁の遅れにより利益率の低下が続いている。
	□	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促意欲は高いものの、経営基盤を揺るがしかねないエネルギー価格や資材の調達コスト高騰などの影響でちゅうちょする傾向があり、先行きの景気は不確実性がますます高まっているとみられる。
	□	会計事務所（所長）	・継続しているエネルギーコスト負担、今後の金利上昇圧力が影響する。
	▲	—	—
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	人材派遣会社（経営者）	・以前は派遣依頼があっても求職者数が少なく、なかなか契約に至らず、売上や利益には結び付かなかったが、ようやくマッチングができ、数字に反映されるとみている。
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・企業が人材採用を積極的に行う。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・これから3月から4月にかけてを求人数のピークとして予測している。また同様に、企業の採用活動に合わせて、求職者の応募も増えていくと予測している。
	○	職業安定所（職員）	・人員確保のために、緩やかではあるが全体的に条件アップが図られるのではないかとみている。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・どの業界でも人手不足が著しい状況もあり、現状を踏まえると、より多くの求人を受けると予想している。また、今まで中途採用のみだった企業や、新卒でも即戦力として採用をしていた企業が、育成にシフトしスキルに重きを置かずに採用をしているため、学生にとってもチャンスが広がると期待している。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染とインフルエンザの流行により、なかなか景気は回復しないとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・急な好転はないとみられる。
	▲	—	—
×	—	—	